

エコ・あぐり・タウン くねっぴ 応援団だより

令和3年7月21日発行 NO.54

訓子府町の「ふるさと応援団」にご参加いただき、ありがとうございます。
みなさまと訓子府町を結ぶ便りにできればと考えております。

応援団トピック

訓子府町開町100周年・町制施行70周年記念

「くねっぴ再発見物語 クンネップから訓子府へ」が
発行されました。

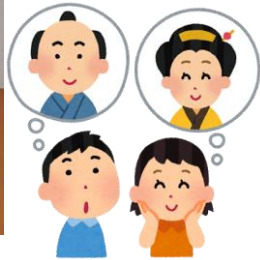
訓子府町は、大正9年に分村してから令和2年に100周年、
さらに昭和26年に町制が施行されてから70年の節目が経過
しました。

この節目を記念し、歴史的資料を後世に残していくために、
くねっぴ再発見物語「クンネップから訓子府へ」を発刊しま
した。

内容は、開拓、分村、町制施行など行政を中心に各分野の主
な歴史などを載せています。応援団だよりでは「町の過去と現
在」にて時代の流れと歴史を感じられるよう昔と今の同じ場所
の写真を選びましたので、ぜひご覧ください。



くねっぴ再発見物語
「クンネップから訓子府へ」



北海道常呂郡訓子府町東町398番地 訓子府町役場企画財政課
Tel 0157-47-2115 Fax 0157-47-2600
E-mail kikaku@town.kunneppu.hokkaido.jp
URL <http://www.town.kunneppu.hokkaido.jp/>

町の過去と現在～時代の流れと歴史を感じる～



昭和10年ごろの駅前通りの風景



令和2年の駅前通りの風景



令和2年国勢調査で訓子府町の人口4,682名に、418名の人口減少!!

「それでも目が離せない訓子府」

5年に一度行われる国勢調査の速報が発表され、平成27年度の国勢調査で5,100人の人口でしたが、令和2年度には418名減少し4,682名になりました。毎年5年間の平均で80名ずつ減少したことになります。超高齢社会と人口減少社会の到来は、小規模自治体や農漁村社会の消滅が叫ばれているのです。国は地方創生政策を講じて人口減少を食い止めようとしていますが、目に見えた成果は上がっていないようです。人口減少は我が国の課題、全国的な傾向と言えます。訓子府町の418名の減少は、オホーツク管内市町村と比較してもなだらかな現象と言えますが、ここ数年、目を離すことができない注目すべきことがたくさんあります。

1. 新型コロナワクチン接種が順調に進んでいます。

5月16日から始まった新型コロナワクチン接種は、65歳以上の高齢者接種は既に90%に到達、全住民の56%に達しています。大都会を中心にワクチン不足が問題視されている状況で小さい町だからこそ、安定的にワクチン接種が行われています。

2. 新たな店舗出店や新商品開発が増えています。

町内から菓子店がなくなり不自由をかけていましたが、函館でパティシエ修行をされていたご夫婦が縁あって「カガミ菓子店」をオープンされ、客足が途切れることがない評判のお店になりました。また「旅の宿くんねっぷ」が新しい経営者に、菅野養蜂場が市街地にオープンしました。平成27年から新たに13店舗が進出、開店しました。

3. 地域活性化チャレンジ事業で新たに2事業が採択されました。

町民税の1%を活用した2事業が採択されました。町のキャラクター「たまねっぷ」の形をした余湖龍三さんの「おやき」と町の地場産品などを原料とした合同会社さんじんによるアイスプリン「カタラーナ」の製造です。二つの製品は秋にはお目見えし販売が始まります。

4. 訓子府中学校野球部が中体連で管内初優勝の快挙を成し遂げました。

7月11日北見市営球場で紋別潮見中学校や北見高栄中学校、決勝では端野中学校に競り勝ち、7月31日から旭川スタルヒン球場などで開催される全道大会に出場が決まりました。

5. くんねっぷ再発見物語「クンネップから訓子府へ」が大好評です。

開町100年記念誌として発刊した「クンネップから訓子府へ」は広報等の懐かしい写真をふんだんに使用し、読みやすいと大変評判です。この一冊があればクンネップの歴史が理解できると訓子府出身の方々からも希望が多く、残り200冊ほどになりました。無料で進呈しますので、ご一報ください。

6. 訓子府町も「地域おこし協力隊」募集中!

総務省が地域力の創造・地方の再生を目的とした制度である「地域おこし協力隊」は全国の市町村で取り組みが行われています。訓子府町も人口増施策として定住促進を目指して地域おこし協力隊員を募集しています。北の大地に夢と志を持った方を募集しています。



町長's Eye



特産品をプレゼント！

日頃より、ふるさと応援団に加入していただき、ありがとうございます。
今年は、皆様に特産品の魅力を知ってもらうことを目的に特産品をプレゼントさせていただきます。

今回プレゼントする特産品



応募方法

本紙の郵送を希望された方

- ①返信用はがきに本紙の意見や感想を必ず記入してください。
- ②返信用はがきの応募条件に同意のうえ、応募してください。

メールでの送付を希望された方、町ホームページにて確認された方

- ①町ホームページにて本紙を確認してください。
- ②ダウンロードした応募用紙に本紙の意見や感想を記入し、応募条件に同意してください。
- ③メール及びFAX、郵送（送料自己負担）にて応募してください。

※お一人様につき一口までの申し込みとさせていただきます。

応募締切

8月2日（月）当日消印有効

当選発表

厳正なる抽選の上、ご当選者様には商品の発送をもって発表に変えさせていただきます。
後日、ご当選者には商品同封のアンケートにお答えいただき、内容を次号にて発表させていただきますのでご了承ください。（商品の発送は8月上旬の発送となります。）

宛先

〒099-1498 北海道常呂郡訓子府町東町398番地 訓子府町役場企画財政課

お問い合わせ先（受付時間 月～金 8:45～17:30）

訓子府町役場企画財政課企画係 TEL0157-47-2115

くんねっぷメロンのことを教えて！

くんねっぷメロンの魅力を伝えるため、訓子府メロン振興会長である林幸雄さんに取材してきました。

Q1.くんねっぷメロンの特徴を教えてください。

訓子府町は北海道東北部オホーツク海地方の内陸部にあり、盆地特有の一日の寒暖差が大きいことで糖度が高くなり、メロンの生育に適した気候です。

Q2.今年のメロンの出来はどうか。

今年のメロンは好天に恵まれたことで玉が大きく育ち、糖度も高く最適な環境で生育されました。

Q3.くんねっぷメロンの糖度はどのくらいですか。

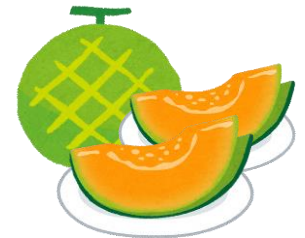
くんねっぷメロンは糖度15度以上であり、ものによっては16～17度程度のものもあります。

Q4.メロンの食べごろはどのように見分けますか。

底の部分を軽く押して、柔らかくなった頃が食べごろです。

Q5.メロンづくりへの思いを聞かせてください。

メロンの生産者はメロンづくりの職人です。
こだわりと手間ひまかけたメロンをぜひ食べてください。



Q6.くんねっぷメロンはどこで購入できますか。

くんねっぷメロンは訓子府周辺でしか流通していませんので、訓子府町ふるさと納税をご利用ください。（ふるさとチョイス・さとふるにて受付）



収穫前のくんねっぷメロン



ハウスのようす